



# 6BQ6 シングル 入力 10W 3.5Mc-7Mc 用

ロータリー・コンバーターと電池を  
ミゼットの荷台に積み込んで

JA1BBO  
小林 知 司

JA1IAU  
長 縄 太 郎

シャックを構成する機器装置は、大別して送信機と受信機になるが、移動局となればさらにそれらを動作させる電源をどうするかという点がかつとも問題になる。すなわち現在では受信機についてはトランジスターの発達で、電源は小さくても一応満足なものができるが、送信機の電源は通信能力と直接大きな関係があるのでその点は難しいところである。電源を商用電源（AC）に頼らず自給して運用する送信機となれば、電源の種類は電池かバッテリーまたは発電機に頼ることになる。たとえば乾電池を電源とすれば、その容量とか大きさ、重量の関係からハイ・パワーの送信機は働かせられないから、せいぜいポータブルのハンディーなトランシーバー程度のものになる。バッテリーや充電器となると重量などの関係から車（自動車など）に積んで移動しなければならない。そのかわりハイ・パワーの送信機を運用できるわけである。

ところで移動局には実際に移動（走行）しながら交信できるような本当の意味での移動局ばかりではなく、自分のシャックからある地点までなんらかの方法で機器を運んで、その地点において運用することになれば電源は必ずしも自給せずとも、ACラインが利用できる場所であればそれを用いればもっともFBである。そうなれば普通の固定局の送信機と同様なものでも良いわけであり、ただし移動に適した条件としてはやはり小型で軽量の方が運びやすく、しかも運ぶ際に受けるショックや振動に対して特に丈夫でなくては行けない。

本機はバッテリーとロータリー・コンバーターの手持ちにあったので、その容量に適するように設計したもので、さらにAC電源によって電源供給を行なうことにより、ローカル通信用としてばかりでなく、普通の固定局としての送信機にも使うことができるものである。

